

《担当者名》 丸川活司 遠藤輝夫 高橋祐輔 山崎智拡

### 【概要】

臨床検査技師を目指すにあたり、早期に臨床の現場へ赴き、その実態に触れることが意義大きい。医療を担う専門性の高い臨床検査技師がチーム医療の中でどのように貢献し、より良い医療を提供するために職種間の緊密な連携が必要であることを理解する。また、本講義では、病院臨床検査室や臨床検査関連施設の見学をおこない、グループディスカッションにより、臨床検査技師の重要性だけではなく、医療人としての心構え・マナーを再認識する。

### 【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得するため、各種臨床検査技師の業務内容と意義を理解する。
- 2) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解するために、病院内における各部署の業務内容およびその繋がりを学ぶ。
- 3) 医療現場における臨床検査の意義について説明できる。
- 4) 医療現場における臨床検査技師の役割を説明できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検査学入門 の概要と進め方</li> <li>・臨床検査技師の業務内容について</li> </ul> <p>キーワード：臨床検査技師</p>	丸川活司
2	Clinical Research Coordinatorとして活躍する臨床検査技師	<p>Clinical Research Coordinatorの仕事について</p> <p>キーワード：治験コーディネーター、臨床研究、インフォームドコンセント</p>	丸川活司 佐々木由紀（特別講師）
3	大学の研究室で活躍する臨床検査技師	<p>大学の研究室で活躍する臨床検査技師の仕事について</p> <p>キーワード：キャリアパス、大学院、研究</p>	丸川活司 櫻井俊宏（特別講師）
4	生殖補助医療胚培養士の仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生殖補助医療胚培養士の仕事内容と検査技術</li> <li>・臨床検査学科からの胚培養士への道</li> </ul> <p>キーワード：生殖医療、体外受精、胚移植</p>	丸川活司 八木亜希子（特別講師）
5	検査の専門家としての認定認知症領域検査技師の使命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症概論</li> <li>・認知症の診療に必要な検査の実際</li> <li>・目指せ、認定認知症領域検査技師！</li> </ul> <p>キーワード：認知症、認知検査、多職種連携</p>	丸川活司 前島澄子（特別講師）
6	科学検査研究所の仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学検査研究所（法医科）の仕事内容と検査技術</li> <li>・科学検査研究所への道</li> <li>・警察職員としての勤務実態</li> <li>・科学検査研究所（化学科）の仕事内容と検査技術</li> <li>・臨床検査学科から科学検査研究所への道</li> </ul> <p>キーワード：DNA型鑑定、体液検査、人獣鑑別、顔貌鑑定、薬毒物検査、質量分析</p>	丸川活司 石田真人（特別講師） 阿部圭吾（特別講師）
7	施設見学に関するガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌医科大学標本館の見学の目的と概要について</li> <li>・北海道血液センターの見学の目的と概要について</li> <li>・総合病院の見学の目的と概要について</li> </ul>	丸川活司
8 ～ 10	札幌医科大学標本館 見学	<p>医療の歴史、人体のしくみと生命について知見を深める</p> <p>キーワード：医学の歴史、医学教育標本館</p>	丸川活司 遠藤輝夫 高橋祐輔 山崎智拡
11 ～ 13	北海道血液センター 見学	<p>献血、血液検査、輸血用血液製剤の調製さらに医療機関への供給などを理解する</p> <p>キーワード：献血、血液検査、輸血用血液製剤</p>	丸川活司 遠藤輝夫 高橋祐輔 山崎智拡

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14 ↓ 16	病院見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道大学病院</li> <li>・札幌医科大学附属病院</li> <li>・市立札幌病院</li> <li>・三班に分かれ、いずれか一カ所の病院検査室の見学</li> </ul> <p>キーワード：臨床検査室、病理検査室</p>	丸川活司 遠藤輝夫 高橋祐輔 山崎智拡
17 ↓ 18	グループディスカッション	臨床検査技師として活躍する、自分の未来像について	丸川活司

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

課題レポート 100%

#### 【教科書】

その都度プリントを配布

施設見学 実習要領

#### 【備考】

アクティブ・ラーニングとして第18、19回には、グループディスカッションを行う。

#### 【学修の準備】

授業に関するキーワードについて調べ、予習しておくこと（80分）

講義で用いた資料に関して復習し、要点をまとめる（80分）

各施設見学前に実習要領に関して予習し、確認しておくこと（80分）

#### 【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

#### 【実務経験】

丸川活司（臨床検査技師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、高橋祐輔（臨床検査技師）、櫻井俊宏（臨床検査技師）、八木亜希子（臨床検査技師）、前島澄子（臨床検査技師）、阿部圭吾（臨床検査技師）、佐々木由紀（看護師）

#### 【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、高度に専門化し複雑化した医療の分野にあたり、専門職業人としての理念と方法、その具体的な実践に関して講義する。